

平成 21 年度 第 29 回 全青色青年部 通常代議員総会 開催

全青色青年部は 5 月 13 日、東京都千代田区のホテル メトロポリタン エドモントにおいて、平成 21 年度第 29 回 通常代議員総会を開催し、本年度の事業活動基本方針を決定した。開会に先立ち、高橋達雄青年部長より通常代議員総会等のスケジュール変更と災害対策義援金への協力について、次の挨拶があった。



平成 20 年度では女性部と緊急合同役員会を開催し、税制改正運動に取り組んだ。共に活動することで得られる刺激があると考え、女性部の春季リーダー研修会と同日開催できるよう、急遽平日開催に踏み切った。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げますと共に、ご理解・ご協力をいただきたい。

新潟県中越沖地震等の発生を受け、全青色青年部として迅速に被災地を支援できるよう、昨年より全青色青年部災害対策義援金口座を開設した。県連ごとに取りまとめ送金いただいた義援金を全青色青年部で積み立てている。相互扶助の精神で今年もご協力いただきたい。

また、総会後に青年部員等の増強を図る TEN-UP ACTION 2009 を宣言し、青年部の一層の飛躍を誓った。

平成 21 年度の事業活動基本方針と青年部統一の重要課題は次のとおり。

平成 21 年度 事業活動基本方針

米国発の金融危機は世界同時不況ともいふべき景気後退を招き、わが国においても大企業をはじめとする企業業績は急激に悪化し、小規模事業者にも深刻な影響を及ぼしている。

少子高齢化の進展を背景に人口減少時代をむかえるなか、国内景気の後退も重なり青色申告会の会員企業の減少、会活動の停滞が危惧される。次代の青色申告会を担う青年部は、青色申告会組織の基盤強化、活性化にむけて会員・部員増強運動に積極的に取り組まなければならない。

青色申告会の原点である指導相談活動では、本格的な IT 化社会の到来により、ブルーリターン A をはじめとするパソコン会計やイータックスの普及拡大が急務である。青年部は青色申告会の IT 化対応の環境整備にむけて、中心となって積極的に推進する。

さらに小規模事業者に活力を取り戻すため、事業主報酬制度の早期実現をはじめ、青年部世代の切実な要望である個人企業における事業承継税制の創設、とくに本年は「後継者(専従者配偶者含む)の小規模企業共済制度への加入」ならびに「青色事業専従者のみでの中小企業退職金共済制度への加入」の早期実現にむけた税制改正運動に全力で取り組む。

青色申告会青年部は、次代のリーダーをめざし、親会・女性部と一体となって時流にあった幅広い活動を展開する。

チャレンジ! TEN-UP ACTION 2009!

統一的な重要課題として次のテーマに取り組む。

- ・ 会員・部員増強と青年部活動の充実強化
TEN-UP ACTION 2009 の推進
- (1) 会員・部員増強運動の積極推進
- (2) 青年部活動の充実、強化
- (3) 青年部未結成地区の解消
- (4) 地域社会の環境変化に対応した青年部組織の強化

・税制政策活動の推進

以下の重点項目を中心に、税制等改正運動に取り組む。

- (1)個人企業における事業承継税制の創設
- (2)事業主報酬制度の実現
- (3)少子化対策として、教育ローン減税の創設
- (4)消費税手続きの簡素化
- (5)公的医療・年金制度など社会保障制度の抜本的な改革

・イータックス、ブルーリターンAの普及推進

- (1)イータックスの普及推進にむけた活動強化
- (2)会計ソフト「ブルーリターンA」の普及推進にむけた活動強化

TEN-UP運動とは

青年部員が優れたリーダーに、優れた経営者に、より高い人格を求めて努力するために、全青色青年部が掲げた合言葉です。一人一人が自由に目標を定め、日々努力する自らの約束ごとです。

TEN-UP ACTION 2008 表彰式
TEN-UP ACTION2008 において顕著な功績をあげた次の6会を表彰した。

潮来税務署管内青色申告会連合会青年部
世田谷青色申告会青年部
㈱王子青色申告会青年部
㈱千葉東青色申告会青年部
函館青色申告会青年部
那覇青色申告会青年部



青年部学校 第一部・第二部 講演会

女性部の春季リーダー研修会と合同開催した青年部学校では、第一部に小池百合子先生、第二部に平田英明先生をお迎えして講演会を開催した。

青年部学校 第一部

講師：小規模企業税制確立議員連盟副会長
衆議院議員 小池百合子先生

演題：「日本と地球の守り方」

環境庁から国連までクールビズを推進した小池先生の講演は、世界の社会・経済・環境・文明等が潮目に差し掛かっている昨今、エネルギー・経済・食料等の安全保障のために、共感を得られる大義を推し進めたいとの内容であり、会場中から大きな共感が寄せられていた。



青年部学校 第二部

講師：法政大学経営学部准教授
日本経済研究センター副主任研究員
平田英明先生

演題：「金融危機と日本経済の現況動向」

日銀出身、法政大学で教鞭も取られる平田先生の講演は、難解な経済用語の意味と関係を解きほぐしながら、内外の需要動向と中小企業を取り巻く環境とを簡潔に分析し、今後のリスク要因を提示する内容であり、青年部世代の先生ということもあり会場から熱心な質問が寄せられた。

講演要旨は本会機関紙ホームページを参照下さい
URL：<http://www.zenairobr.jp/>

事務局 〒260-0021
 千葉県千葉市中央区新宿 2-8-1
 TEL.(043)241-8558 FAX.(043)241-8550
 E-mail:chairo@air.ocn.ne.jp

青年部長 仲川 伸雄
 発 足 昭和 52 年 9 月
 部 員 29 名
 予 算 30 万

(現役員)

部 長 仲川伸雄(理容業)
 副部長 岩本亮(飲食業)
 副部長 佐藤敏博(生命保険外交員)
 会計理事 坂下雅紀(損害保険代理業)
 監査理事 大森順一(理容業)
 理 事 長谷川裕(理容業)
 理 事 花岡康優(理容業)

(地元概況)

緑と水辺の都市、千葉市の中央部に位置する(社)千葉東青色申告会は、中央区、若葉区、美浜区の一部および稲毛区の一部地域を管轄としています。幕張メッセ、千葉駅、千葉ポートタワー等の沿岸部から、内陸部の住宅街までの広範囲が管轄区域のため、約 5700 名の会員(部員)の業種も小売業・飲食店から農業まで多岐にわたります。



(指導相談活動)

当会では指導相談活動の強化が会員増強にもつながると考え、確定申告期に備えて平成 20 年度は指導要員養成講座を開催しました。計 14 回にわたる講座と 2 回の筆記試験を実施し、合格者を対象に約 2 週間の実務研修期間の後に確定申告期に臨みました。指導水準の安定を図ることで、税務署からの信頼も高まり、青色コーナーの環境整備につながっています。

(青年部の活動)

青年部では親会の指導相談活動に参加する他にも、会勢拡大運動期および確定申告期の広報車巡回

支援、親会指導部との連携のもとブルーリターン A の初歩的な操作を研修する夜間研修会の開催等、積極的に活動を展開しています。

また、本会とは別に青年部が運営するウェブサイト「青色名店街」では、千葉県下の会員の事業を紹介し、近隣会青年部を招いてのボウリング大会の開催等、交流活動に役立てています。



(今後の抱負・課題)

毎年、部員増強数 10 名を目標に活動に取り組むなかで、現在では「青色名店街」運営および同サイトへの掲載者数を増強することが、千葉県下全体での部員(会員)数増加につながると考え、強化を進めています。また、青年部への加入 PR パンフレット等を作成し、親会活動での配布、後継者のいる会員への配布等を行う予定です。



千葉東青色申告会青年部の運営する会員事業紹介サイト『千葉青色名店街』URL:
<http://www.oiromeitengai.com>

本号については、誌面等の関係から「KEY WORD」および「Opinion & Announcement」は割愛させていただきました。